

平成 22 年 2 月定例会 産業経済委員会 3 月 11 日

◆帆苅謙治委員 全く大それた資料ではございませんで、たまたま今、私が議長をさせてもらっているので、議長であればいろいろな、全国都道府県議会議長会とか、あるいは関東甲信越の 1 都 9 県議会議長会、あるいは北信越の 5 県議長会、そしてまた北関東磐越の 5 県議長会もございます。新潟県の場合は、特にあっちについたり、こっちについたりのような方向にあるわけで、非常に忙しいというのが実態であります。そのような中で、私はやはり、個人的な考えですけれども、北関東磐越が将来の道州制に向けて、新潟県のメリットとしてはいちばん大きいのではないかと思います。そしてまた、先般、栃木県で開かれました、福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会で、連携についていろいろとお話がありました。しかし、できるところからやろうということで、今、配付させてもらいましたけれども、5 県の議長の名前で、北関東磐越五県広域観光推進協議会あてに観光振興について、共同したパンフレットを作ろうではないかという提言をしたわけでございます。特に磐越自動車道、そして常磐自動車道、それから北関東自動車道、あるいは関越自動車道を回ると、全て網羅するのです。そして、北関東自動車道が来年までに完成するということになると、完全に網羅して、それが本当に観光振興にもつながるだろうと。また、防災などにもつながるだろうと。長津委員が議長のところ、東京に行って帰ってこれなかった。そのときに磐越自動車道から帰ってきたということもございませぬので、これを重要視する必要があると。そしてまた、日本海と太平洋とを結ぶ一大観光地、観光資源があるところを網羅できるということから、5 県を通じたパンフレットを作ろうということで、議長会として提言をしたということでもあります。この北関東磐越五県広域観光推進協議会というのは、2 年ごとに事務局が替わって、平成 19、20 年は新潟県だったのです。そして、平成 21 年、22 年が福島県だということで、そこの知事ではなくて、ここであれば観光局長がトップになって、そして観光振興課長あたりが事務局をするのか、そういうシステムだと思うのですが、こういう議長会の提言に対して承知をしておりますか。そしてまた、承知しているのであれば、このパンフレットを何とか、200 万円か 300 万円、あるいは 500 万円くらい出せばいいパンフレットができると思うのです。それを作って有効利用していただきたい。実は私が言い出しっぱだったので、新潟県の対応がうまくいかない困るなということで、それだけ聞きたいのです。

◎坂巻健太観光局長 委員の御指摘のように、北関東磐越5県で、観光に関しまして協議会を今、作ってございます。平成19年と平成20年は我々が事務局でしたが、年に何回か会議をさせていただいております。また、事業としても具体的なことを行っておりまして、アジアマーケット、中国、韓国あたりから、この5県を回ってもらうようなツアーの提案といったものを旅行会社に対してするとともに、招待などもしております。今回の議長会の要望事項につきましても、私どもは承知しておりまして、具体化に向けましてこの4月に担当レベルで打ち合わせ等を行っていきたいと考えております。

◆帆苅謙治委員 予算がどうなるのか分かりませんが、新年度に具体化できるように御配慮いただきたい。それだけ確認して終わらせていただきます。

◎坂巻健太観光局長 具体的に5県が集まるのが4月ということでございますので、年度内にいろいろな連絡を取りながら、具体化の仕込みを行っていきたいと思っております。